

受講料無料
テキスト代
2,500 円

耐震リフォーム達人塾【設計演習編】

「木造住宅耐震改修低コスト工法講習会」 開催のご案内

昨年度の大阪北部地震をはじめとする大きな被害の発生や、南海トラフ巨大地震等の大規模地震発生の切迫性が叫ばれており、鳥取県内でもいつどこで大規模地震が起こるかわかりません。大切な命を守るために木造住宅の耐震化が急務となっています。

県では平成 28 年より、名古屋工業大学高度防災工学センター等の協力を得て、合理的で低コストの耐震改修工法の基本や施工方法を学んでいただく講習会を毎年開催しております。今回は低コスト工法に特化した耐震診断・耐震改修用ソフト『達人診断』を用いた設計演習講習会を開催いたします。

『達人診断』は診断ソフトとしては安価（3万円程度）でありながら、低コスト工法で使用する A 工法のデータがすでに登録されていたり、日本建築防災協会が作成した診断ソフト Wee での出力が可能なことなど便利なソフトです。また、昨年 9 月に日本建築防災協会のプログラム評価も取得しており、業務に直結したソフトです。

ぜひ耐震診断、耐震設計に携わる多くの皆様のご参加をお願いいたします。

- 主催 鳥取県
- 共催 国立大学法人名古屋工業大学高度防災工学センター、特定非営利活動法人 達人塾ねっと
- 受講対象者 ①木造住宅の耐震診断あるいは耐震設計をご経験されたことのある方
②過去に達人塾を受講された方

■ 開催日時・申込期間・会場・定員

開催日時	申込期間	会場	定員	CPD 認定
令和 2 年 2 月 19 日(水) 9:00~12:00	1 月 20 日(月) ~2 月 12 日(水)	県立倉吉未来中心 (倉吉市駄経寺町 212-5) セミナールーム 3	50 名 (先着順)	 3 単位

■ プログラム (受付 8:45~)

時間	講義内容	講師
9:00~	主催者あいさつ	県住まいまちづくり課
9:05~	安価な耐震改修のための 7 つの鉄則	名古屋工業大学大学院教授 井戸田 秀樹
9:45~	達人診断の操作解説及び問題演習 (問題演習時間に適宜休憩を含む)	(株)えびす建築研究所代表取締役 花井 勉
12:00	終了	

- 受講料 無料
- テキスト料 2,500 円【テキストは当日受付で販売します。(現金支払いのみ)】
- 用意するもの 耐震診断・耐震改修用ソフト「達人診断」をダウンロードしたパソコン、問題演習データ、電卓 (演習で使用)

※下記 URL から「達人診断」の無料体験版と設計演習課題(1)および設計演習課題(2)の入力データをダウンロードして、お持ちください。

【演習課題及び無料体験版ダウンロードページ URL <http://tatsujinjuku.net/shiryo.html>】

※会場設備の都合上、パソコンの電源は全席では確保できませんので、十分に充電してきてください。

- 受講申込方法 (受講申込書は当課ホームページからもダウンロードできます)
裏面の受講申込書に必要事項を記入し、FAX (0857-26-8113) でお申込み下さい。
- 申込・お問合せ先 鳥取県生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課
〒680-8570 鳥取市東町 1 丁目 220 番地 TEL: 0857-26-7697

この用紙を FAX して下さい。FAX : 0857-26-8113

<受講申込書>

「木造住宅耐震改修低コスト工法講習会【設計演習編】」2月19日(水)9:00~12:00 開催

勤務先 (事務所名)		TEL	() -
勤務先 (所在地)	〒 -	携帯電話 (個人)	() -
(フリガナ) 受講者氏名			
鳥取県木造住宅耐震 化技術者の登録	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	建築士 の種類	一級 大臣登録 二級・木造 () 知事登録 登録番号第 号

注: 定員は先着順です。定員超過等で受講をお断りする以外は、特にご連絡いたしません。

住宅の耐震改修における低コスト工法の概要とコスト比較

○低コスト工法の特徴
 ・既存の壁や床、天井を壊さずに補強出来る。
 ・外壁撤去を行わずに外部から補強出来る。
 ⇒低コスト工法を採用すると、既存の壁や床等の復旧工事が不要となり、工事費や工期が縮減出来る。

壁全体で補強 (一般的な工法)		低コスト工法の一例		
		壁の一部で補強(床や天井を壊さずに施工)	外から壁を補強	
① 筋かいで補強	② 構造用合板で補強	③ 床と天井の間を 構造用合板とL 型アルミ型材で 補強	④ 床と天井の間を火山性ガラス 質複層板で補強	⑤ 外部から金属 のブレースで 補強
(参考)一般的な工法である「①筋かいで補強」とのコスト比較				
①	②	③	④	⑤
100%	73%	37%	69%	46%
一般的な工法でも、押入などの仕上げを気にしないでよい箇所を中心に補強するなど、合理的な設計によっても、工事費を抑えることが可能!				
木造住宅低コスト耐震補強の手引き(愛知建築地震災害軽減システム研究協議会)より作成				